



令和5年度

人権だより



南那須特別支援学校 学習指導部 人権・道徳教育係

「人権」という言葉を聞いて、どのような事を想像しますか？ 現在人権に関する問題は社会の変化によって、多様に変化しています。本校では、毎年2学期に人権の大切さについて考える時間として「人権教育」の授業を行っています。各学部それぞれの工夫を凝らした授業が展開されています。今年度も各学部での人権教育の授業の様子をお届けします。

〈小学部高ブロック〉

小学部高ブロックでは、「人権」とは、自分やみんなの命・体、自分やみんなの気持ちを大切にすること、そして「人権の学習」は、誰もが『やさしく、なかよく、きもちよく』過ごすための勉強であることを知ることから始めました。

話を聞くとときや自分から話をするとき、伝えるときなどの六つの場面に応じて、2パターンのイラストを見てどちらの行動が気持ちのよいものであるか、自分の行動を振り返りながら考えたり、実際に気持ちのよい行動を実践してみたりしました。また、「やさしく、なかよく、きもちよく」過ごすための三つの魔法の言葉をみんなで確認しました。



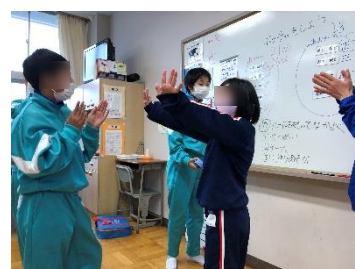
やさしく なかよく きもちよく すすすための



〈中学部〉

中学部では、自尊感情を高め、他者を理解することを目的として学年別に授業を行いました。

1年生は、言われて嬉しい言葉『ふわふわ言葉』と言われて嫌な言葉『ちくちく言葉』について学習しました。また友達の活躍している写真を見ながら、ワークシートに『ふわふわ言葉』を書いて伝えました。2年生は、全員でポッチャを行いました。たくさんの『ふわふわ言葉』を使って友達を応援することができました。3年生は、友達の良いところを見つけてカードに書きました。友達が書いてくれたカードを見て、自分の良いところを改めて知ることができました。



〈高学部〉

高等部では、友達の良さを認め尊重するとともに、自尊感情を高め、意欲的に行動できる態度を育てるために、今年度も元気な「挨拶」、丁寧な「言葉遣い」、好ましい「身だしなみ」に日頃から力を入れ取り組んでいます。

今年度の人権学習では、1年生は「いろいろな立場で気持ちを知ろう」2年生は課程ごとに「自分を知ろう（リフレーミングで短所が長所に）」「ふわふわ言葉とちくちく言葉を知ろう」、3年生は課程ごとに「働くために（スマートフォン、SNSの使い方）」「社会人になる（友達の良いところ、適切な関わり方）」について学習しました。

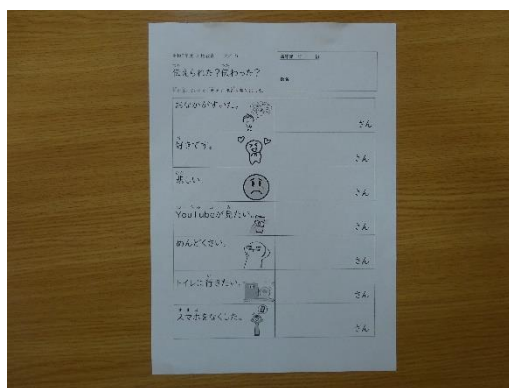
今回は、1年生の取り組みについて紹介します。

1年生の授業では、言葉を使わないコミュニケーションを体験して、制限された状況で伝えあう困難さを知り、色々な状況で相手を思いやって関わる方法について考えました。

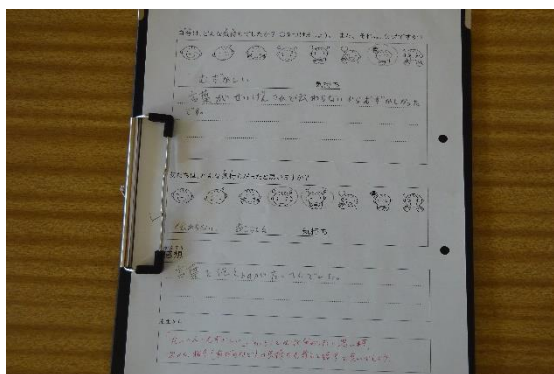
3つのグループに分かれて伝言ゲームを行いました。使える言葉はグループごとに「あ」「お」「ま」から一つのみ。選んだカードに書かれた気持ちをグループの友達に伝え、グループのメンバーはそれぞれ、誰が何を伝えようとしたかを、ワークシートに書き込みました。



表に発することのできる言葉、裏面に気持ちを書かれているカード。引いた気持ちを、どうやったら伝わるのか、表情や声色を変えて工夫していました。



友達が伝えようとしていることを分かって、真剣に見て、聞いて、ワークシートに記入しました。



そして答え合わせ。

伝える側だったときの気持ちと、読み取る側だったときの気持ちを思い出しながらそのときの気持ちを発表しました。

「言葉が使えないから、伝えるのが難しかった」「難しかったけど、分かってもらえたときは嬉しかった」「一生懸命伝えようとしているから、がんばって分かってほしい」などの感想が聞かれました。



最後に、全グループが集合し、各グループごとに感想や意見を発表しました。

色々な立場でのコミュニケーションがあることを知り、「お互いを思いやること」の大切さを学びました。

後日行われた「コミュニケーション」の学習では、これまで以上に相手の話に耳を傾ける姿がみられました。